

(2022年)
令和4年
2月28日発行

紀南PTA連合会会報

発行 紀南PTA連合会
熊野市木本町622-13

編集 紀南PTA連合会
広報委員会



紀南P連 Mr.Takagakiの呟き!!

今回は、私の座右の銘です。 私の好きな言葉です。
「一灯をさげて暗夜を行く。暗夜を憂うなかれ、一灯を頼め」
子ども向けに、わかりやすい表現にすると、
「ちょうちんを持って、暗やみを行く。ちょうちんの明かりをたよりにせよ」
これは、佐藤一斎（さとう いっさい）江戸幕府が設立した唯一の大学である「昌平坂学問所」 所長、現在の東京大学の総長の地位の方の言葉です。

皆さんも、何か新しい事を始める時に、不安なことはありませんか？
自分には才能がない！ 自分に出来るのか！ 無理かも！

誰もが、そう感じる事は、多いと思います。
冒頭の言葉の意味は 一光（目標）を持って、暗夜（困難な道）を歩く。光（希望）を信じろ。 困難と思われる事も、希望と夢を描く気持ちがあれば、自分と自分を助けてくれる仲間存在に気がつく、強い信念が、自分の未来を切り開くことにつながる。

研修委員会 イベント報告

「潜在“脳”力」のふしぎ ～人間ってスゴイ！わたしってスゴイ！～

令和3年12月4日(土)に熊野市防災公園屋根付練習場(有馬町)で紀南PTA連合会主催の「潜在“脳”力」のふしぎ ～人間ってスゴイ！わたしってスゴイ！～を開催しました。



一昨年から新型コロナウイルスが流行し、9月まで緊急事態宣言が延長されていましたが、奇跡的にこの時期、下火となり解除されました。当連合会としても「コロナに負けるな。こどもたちに何を贈れるか！地域の方々との連携の模索！」を考え、今回も熊野市防災公園で、体験型の講習会を実施しました。

3密（密閉・密集・密接）を避けるため、場所が広く換気の出来る場所を考慮し、さらに客席を前後・左右に2m以上の間隔を確保しました。スタッフはフェイスガード＋マスクを着用し、来場者にも検温・マスク着用・手指消毒などを徹底。熊野市から紀宝町までの子どもから一般の方々約80人と盛況でした。

冒頭に、高垣P連会長より「昨年同様にコロナ禍の影響で、皆様にはご不便おかけします。熊野市・御浜町・紀宝町のご協力により、体験型講演会を企画しました。人間の持つ潜在能力は凄い力を持ち、勉強だけではなく、仕事に及ぶ範囲で、能力活性化の鍵になると思います。この機会に、素晴らしい能力を開花させる技を学んでほしい」と挨拶がありました。

講師の川谷潤太（かわたに じゆんた）さんは、兵庫県の大手学習塾において、最年少での校長就任。1000名通う教室運営。スポーツ指導においても、創設一年での野球部の甲子園出場。アスリートへのメンタル指導等、日本中のみならず世界から注目された指導者です。脳科学・心理学・集中力・モチベーション・リーダーシップ・健康と多岐にわたる効果指導を行われ、成果を続出されています。奥様もソフト日本代表チームに所属され、この熊野で出会われたとの事で、「熊野とは、ふしぎなご縁でつながっており、この熊野で、P連講演会の開催に感謝しています」と講演後に語られました。

川谷先生の体験型講習会では、「見せて、やらせて、納得させる。脳はイメージを優先させるが、人は思い込みで違う判断をする。少し見方を変えるだけで 180° 能力の優劣が変わった結果となる。スプーン曲げ、身長を伸ばす事も、ダイエットにおいても簡単にできる。出来ると思える気持ちを持つ事が大切」と語られました。

現在意識は5%（大抵の人は、ここが活動領域）。潜在意識は、95%（天才と呼ばれている人の活動領域）。数人が選ばれ、体験する。聴衆の面前で起きる奇跡に、唖然となる。年齢、体格の違う4人が、120kgの巨漢を持ち上げようとするが上がらない。当たり前と思う聴衆の面前で、講師の告げた一言で巨漢が持ち上がる事実会場は騒然となる。現在意識はパーソナル（個人）、潜在意識はグローバル（世界観）をつなぐ。全員が集中して何かをなす時、見えない糸が個人個人をつなぎ奇跡を起こす。

講師は語る、「気づいてほしい。なりたい自分をイメージして自分を信じる。上手くいかない時には少し見方を変える必要がある」。

決して、特別な事を聞いた訳ではなく、日常茶飯事ありふれた事の中に答えがある。チームで円陣を組んで「一生懸命 頑張ろう」、家族揃って「いただきます」。無意識にがむしやらに行うのではなく、大切な一言は「心を込めて、気持ちを一つにして、みんなで頑張ろう」という意識の集中が、大事を変える秘訣であったと理解しました。



最後の講師の一言：「地球上の人口は75億、毎日1秒間に一人会い続けても、100年間で、30億人しかあえない。今、この瞬間にあえた奇跡に、感謝したい」素晴らしい言葉でした。

未だかつて、聴衆がこれほど真剣に受講する講習会を見たことがないと感じました。



今年もコロナ禍の中で、学校・保護者・地域の皆様など、たくさんの協力を得て今回の講演会を開催することが出来た事を嬉しく感じます。今後も皆様が喜んで頂ける会を模索し続けます。コロナに負けずに「今わたしたちに何が出来るのか！」を常に考え、地域の活性を図るべく、今後も活動していきたいと思っています。

ご要望があれば、今回の研修会のビデオ上映会も企画します。ご意見などを紀南PTA連合会のホームページやメール等でお寄せください。



主催：研修委員長 北裏 和樹
記事：広報副委員長 高垣 裕人

会長あいさつ

高垣 裕人

2021年度 紀南PTA連合会の 輝く未来への取組 SDGs未来都市への変革

40年ほど、この町を離れ都会での生活に追われてきました。豊かな経済活動の裏側で少子高齢化のうねりを感じて、この地域の変貌を目の当たりにします。

昨今、木本高校と紀南高校の統合問題が、最終局面に入ってきています。小中学生に関して関係の無い問題ではなく、誰一人取り残さない勉学の場が狭まる事は、子ども達の進路にとって大きな問題といえます。

今期も紀南PTA連合会としては、会員相互の意見としてアンケート調査を行い、忌憚（きたん）無き意見を教育委員会に届けようと考えています。

全般的に少子化傾向により、学校集約は仕方無いとの意見が多いですが、学びの自由を尊重した場合、人数減少の結果1校に統合することには懸念があります。

紀南地区は、熊野高専（近大高専）が無くなった後、2校での志望推薦を上手く調整してまいりましたが、地域特性から一つに集約するには、大きな障壁が出ます。一つの方法として、以前から話題になっているように、好きな場所でICTを活用した学習活動、更にはクラブ活動の両立も検討していただきたいと考えます。

ミネルバ大学という大学をご存じありませんか？米国のミネルバ大学が、コロナ禍以前から注目されておりましたが、更に脚光を浴びる時代に移ってきました。紀南P連でもこの大学のことはよく話題にしています。リモート授業ですが、単純なネットワークを使っただけのリモート対応ではありません。

- ・キャンパスレスで、本部がサンフランシスコにあるのみ。
- ・ハーバード大学費用（年間\$8万）→ ミネルバ大学（年間\$4万）
- ・更に、年間\$4万の中に、1年間の寮費含む
- ・世界8都市で、半年間共同生活して、移動。その国に貢献するSDGsで、評価。
- ・試験は無し。カリキュラムは自分で作成、講義を立案して点を稼ぐ加点方式。

世界の教育は大きく変貌しています。IQではなくEQ・SQ、社会に貢献、他人の幸せを願うこのような感覚を持った人間形成を必要とする時代になってきています。

是非、上記のようなドラステックな考えをいれた教育課程をこの熊野で実践して、自然環境を利用した新しい学習指導を検討していただきたいと考えます。

紀南地域の活性化、しいては都会では学べぬ自然環境での人間性、技能の両立を図るよう、また、紀南地域の子どもの達が紀南地域をSDGs未来都市へ変貌を図れる事が、この地域の本当の活性化につながると考えます。

紀南地域高等学校活性化推進協議会の究極の目的は、地域共存として、この紀南地域の活性化の原動力となることです。

紀南地域高等学校活性化推進協議会の意義を再度認識いただき、地域全体としてこの地域をどうしていきたいのか議論の中に入れていただければ、PTA以外にも地域の方々の意見も含め、より建設的なものに生まれ変わるのではないかと考えます。

過疎化により、消滅都市のレッテルを張られた地域でも、5年後・10年後のあるべき姿を描いて地域活性化を考える必要があります。各教育委員会にも、PTAの意志を伝えて大きな渦をつくる事が必要です。

令和3年度PTA全国大会は、北九州市（SDGs未来都市）で開催、多くの方に映像配信をみて頂きました。今の子ども達の意識も変わり、「家族と幸せに暮らしたい」「お金を稼ぐより、人のために役立ちたい」このような声を大切にしたいと考えます。皆さんと一緒に、輝く未来を、ここで実現しませんか！

地震について学ぼう

1月23日 家庭・幼児委員会イベント

令和3年度家庭幼児教育委員会「地震について学ぼう～子どもたちの安心した暮らしのために～」については、新型コロナウイルスの感染拡大・感染者数増加を踏まえ中止させて頂くこととなりました。

この企画を立案しご案内し募集を開始してから100名を超える参加申し込みを頂き、防災・減災への関心の高さを肌で感じながら委員会一同、当日に向けて何度も協議や調整を重ねてきました。紀南PTA連合会の特性を生かして、今、リアルな子どもたちと過ごす時間の多い方々と一緒に学びの機会を創りたいと願い、三重県・熊野市・御浜町・紀宝町の防災担当部署や教育委員会の皆様にご理解とご後援も頂き、熊野市・南牟婁郡全域での取組みとなり防災意識の向上に大きな期待感が募らせていました。

また、日頃から防災減災活動や子どもたちを見守る活動をされている方々、命の危機に最前線で向き合っている方々やJRCの活動をする高校生など多方面からたくさんの方々が、実施にかかわって頂き当日を迎える予定となっております。

今回は中止となりますが、これまでの関わりを大切に、これからも紀南PTA連合会として地域全体の子どもや子どもに関わる方々と一緒に防災・減災を日常化し、意識を持ち続けていきたいと思っています。

家庭幼児教育委員会
委員長 黒瀧 一輝



追加イベントのお知らせ

三重県PTA連合会 家庭教育委員会実施
イベントの特別映像配信企画
大嶋 啓介氏講演 2月1日実施

『夢を持てば人は輝く
～夢は必ず叶う～』

動画配信期間：3/20～4/30

三重県PTA連合会LINE公式アカウントを友だち登録いただいている方に限定で、YouTubeのアドレスを配信します。ぜひご登録いただき、ご視聴下さい！

※3/20の午前中にお友だち登録の方、全員に配信します。
※3/20以降(～4/30)にLINEの友だち登録をいただいた方には、登録時のリターンメールで動画配信をご案内する予定です。
(3頁にQRコード記載)

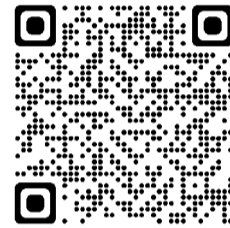
三重県桑名市在住
居酒屋「てっぺん」会長
海外からも多くの方が
「本気の朝礼」を見学



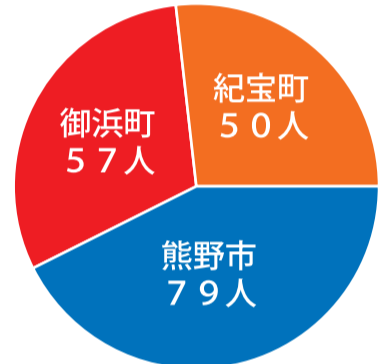
紀南地域高等学校活性化推進協議会に向けたアンケートについて

会員のみなさまから186件の回答をいただきました。多くのご意見をありがとうございました。

現在、三重県教育委員会において、これまでの協議会での議論の内容やパブリックコメントをふまえて「三重県高等学校活性化計画(仮称)」を作成しているとのことで、会議の開催は来年度4月以降への延期になっています。このアンケート結果については、今年度中の協議会において提出する予定でしたが、次回開催の会議において「紀南地域の保護者の声」として提案させていただきたいと考えています。また、紀南PTA連合会ホームページより閲覧、ダウンロードできるようにするとともに、三重県教育委員会、熊野市、御浜町、紀宝町の各教育委員会とも情報共有させていただくことにしております。



紀南PTA連合会HP
QRコード



最近希薄化する PTA活動にて思うこと 紀宝町防災公園計画案署名活動 その後の経緯 要望

紀南P連：広報委員長 中澤 武

前回に引き続き防災公園の内容ですが、すぐに決まることではありません。

西田町長様ならび紀宝町役場職員の方々は真摯に署名を受けていただき話も聞いてくれました。感謝申し上げます。

今すぐに決まるものはありません、しかしながらこの活動は、なくてはならない。長期間の取り組みであるが実現に向けた行動・経験こそが大事なことであると思います。

“行動なくして未来はない!!”

私達は、新たな行動計画を推進します。

PTAの更なる活動 紀宝町ママ友パパ友の会の進言

令和3年12月3日

紀宝町長 西田 健 殿

団体名 紀宝町ママ友パパ友の会

安心して出産できる環境を早急に整えることについての要望

紀宝町ママ友パパ友の会は、紀宝町で子育てをする父母と、活動の趣旨に賛同する町民(会員12月1日現在611人)による団体です。

新宮市立医療センターが11月17日に発表した産婦人科の分娩予約休止の発表について、大きな不安を抱き、何かできることはないかと考え、お母さんたちの声を届けるために結成しました。

紀宝町におかれましては、すでに関係機関に対して要望を行っていることを伺っており、感謝申し上げます。

さて、これは子育て家庭や今後赤ちゃんを迎えたい家庭だけの問題ではありません。地域の未来を考えたとき、すべての人に関わる深刻な問題で、「赤ちゃんを産めない」状況は絶対に避けなければなりません。

紀南病院組合立紀南病院では平成27年9月から分娩ができなくなっていますが、紀宝町は新宮市に隣接する地域的事情もあり、これまで多くの妊婦は新宮市立医療センターで出産してきました。

転院になる妊婦さんは57人と報道されています。また、尾鷲総合病院も本年度末で常勤医師が定年を迎えるため、この医師の勤務延長と後任医師の派遣を三重県へ交渉しているのとって

います。

3月以降は熊野市と新宮市の個人医院を受診できなかった場合、松阪市、串本町、田辺市まで2週間に一度の妊婦健診に向き、出産時も陣痛に耐えながら長く車に乗らなければなりません。破水をした場合、赤ちゃんの命は助かるか、第二子、第三子の場合、兄弟は誰が見てくれるのか、ぐずる子どもを車に乗せて一緒に連れて行くのか、交通費の家計への負担、長時間家をあけることでの家事、育児、仕事への負担～。不安は尽きません。

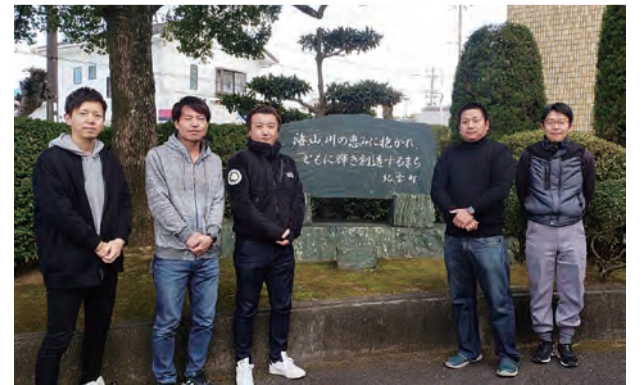
紀宝町には充実した子育て支援環境があります。安心して出産できるよう、これから親になっていく子どもたちが里帰り出産できない地域にならぬよう、紀宝町長様におかれましては、下記の要望についてご配慮頂きますようお願い申し上げます。最後に、退職される新宮市立医療センターの医師につきましては、これまで母子のために尽力していただいたことに感謝しています。

記

■要望事項

- ①紀南病院組合立紀南病院の産婦人科常勤医師を早急に確保し、分娩を再開すること
- ②新宮市立医療センターの産婦人科常勤医師の後任を確保し令和4年3月以降も分娩を継続することについて新宮市への働きかけ
- ③新宮市や熊野市の医院を受診できず、遠方の病院で出産することになった妊婦について、妊婦健診時などにきょうだいがファミリーサポートセンターを利用する場合、無料にすること
- ④上記妊婦が出産時などに送迎者がおらずタクシーを利用する場合、交通費を全額助成すること

以上



防災公園設立委員会メンバー

要 望 書	
紀宝町役場 西田町長様	令和3年9月21日 防災公園設立委員会 PTA代表:中澤 武
要望内容: 防災公園設置に関する要望書	
<p>爽秋の候、ますますご清祥のことと存じます。</p> <p>私達はPTA役員の前に子供達の親です！言わば責任者です。</p> <p>今回のコロナウイルスにより当たり前の景色、当たり前の行事イベント等がなくなりました！その中で実子にすらどうしてあげたら良いか、勉強は、将来はどのような笑顔で楽しい私達に産まれてきてくれて良かったと思ってもらえるか？</p> <p>今まで永年受け継がれてきたPTAという組織。このお力で教職員、教育委員会と意識を統合して、あらゆる角度から見直し協力していき、次世代の子供達に元気な笑顔をとりとしていく努力が、必要と思えました！子供達の明るさが、保護者皆とともに必ずコロナ禍でも明るい未来への道は開く！と思えます。</p> <p>課題: ・既設公園の設備の老朽化における危険性の高まり。 ・子ども達を安心して遊ばせる場所が不足しており、室内でのゲームやインターネット等依存しがちになっている。 ・コンビニエンスストアが溜まり場となってしまう現状がある。</p> <p>要望: ・子ども達が徒歩や自転車から遊びに行ける範囲にある場所。 ・安全に自転車の練習が出来、また、おもしろい走り回れる位の広さを有す。 ・子どもから、お年寄りまで集えるような配慮した設備環境(みんなが利用) ・災害時にも対応出来る、時給エネルギー供給(太陽光等)機能を設備する。 ・エネルギー供給の費用にて、肢体不自由な障害者雇用での維持管理。</p> <p>添付: ・200家族、500名の署名</p> <p>以上につきまして、複合防災拠点能力を有した、新防災公園の設置をご要望申し上げます。宜しくご配慮賜りたくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

【紀宝町からの回答】

回 答 書	
公園設立委員会 PTA代表 中澤 武 様	令和4年1月21日 紀宝町税務住民課長
<p>寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。</p> <p>また、日頃より町行政にご理解ご協力を賜りありがとうございます。</p> <p>さて、貴PTA役員会様からご要望頂いた「防災公園設置に関する要望書」により、貴重なご提言を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>ご要望いただいた既設の老朽化した公園設備につきましては、必要に応じて更新、修繕をし、また、新たな公園施設につきましても、検討をしてみたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。</p>	

単P
通信

《特集》

紀宝
町立

矢渕中学校

大規模改修でリニューアル

広報委員 中家 嗣仁

現在の校舎棟、技術棟は、昭和47年に建設、昭和49年には体育館が建設され約50年が経過しています。この間、耐震補強や補修工事を随時行い学びの場を守ってきました。

しかしながら、建設から約50年という年月が経過し屋上の防水機能が非常に損傷しており雨漏り等による影響が危惧される状況であることが判明しました。

内外装は、教職員はもとより卒業した諸先輩方や子どもたちが大切に用いてきた様子はうかがえるものの、約50年という歳月による経年劣化は避けられない状態となっていました。

また、新たな土地に中学校を新築することは、多くの年月と莫大な費用が必要となることから、現在の校舎棟等を長寿命化し子どもたちの学びの場を確保していく事となりました。

このような経過を踏まえ今回の大規模改修について、矢渕中学校の先生に話をうかがいました。

・工事中苦労したこと、学校として教育委員会や、工事関係者に要望したことは何かありましたか？

「要望は多岐にわたり、『子どもたちの学びを最優先する事』を第一に、毎週打ち合わせの会議を持ち、学校の予定や時間割をもとに、また、現場に足を運び確認をするなどし、作業工程を組んでいただきました。工事中には、学校生活に様々な制約があり、大変な事はありましたが、工事関係者の方々は、細かな要望や急な変更にも応えてくれ、努力していただいていたと感じました。」

・学校として工事中の生徒たちに対する不安はありませんでしたか？

「安全面と子どもたちが落ち着かないのではないかという不安は常にありましたが、何より子どもたちはメリハリを持って学校生活を送り、授業規律を崩す事なくがんばってくれました。子どもたちの学習、部活動に励む姿が、私たちの不安を軽くしてくれました。」

・完成後の生徒、保護者、先生たちの声をお聞かせください。

生徒の声

とても明るくきれいになり、使いやすくなりました。

雨の日には湿気で廊下がぬれて滑りやすかったけど、それも改善されました。

過ごしやすくなったこの学校で、気持ちも新たに勉強、クラブ活動に励んでいきたい。

きれいになったので、これから大事に使っていこうと思います。

保護者の声

学校内がきれいになってビックリしました。環境が良くなったので、学業の方もがんばってほしいと思います。

私は矢渕の卒業生ですが、すごくきれいになって嬉しかったです。環境が良くなって安心しました。

先生の声

工事期間中、落ち着いて学習などに取り組んだ子どもたちに感謝するとともに、新しくなった校舎で子どもたちがより一層飛躍してくれると確信しています。

と、新しくなった校舎で子どもたちとともにより良い学校生活をつくりあげていくという思いが聞けました。

発端は、ハード面の経年劣化による改修工事がもととなっているが、子どもたちを主人公とする学校が教育委員会や工事関係者に対し、積極的に意見を述べ綿密に打合せを行うとともに、それに応えようとした教育委員会や工事関係者の努力と工夫が、今回の改修工事を成功に導いたと思います。

限られた予算の中で、どのようにすれば子どもたちのためになるのか真剣に向き合った結果であると感じます。

コロナ禍で、学校運営が非常に難しい状況下、工事期間中に体育祭や文化祭、修学旅行など次々と行事を行い大きな混乱がなかったのは、矢渕中学校全体が「ひとつ」となり子ども、保護者、地域と先生が一体となった学校運営ができていたからではないでしょうか。

【生徒玄関】



(before)



(after)

【技術室】



(before)



(after)

全力で、テーブルパカットする
中家パパ

天井や内壁に木材が使用されぬくもりのある内装に変更。照明もLEDに交換され校舎全体が明るくなりました(^ ^) /



【令和4年1月11日 竣工式の様子】



紀南PTA連合会 Home Page & facebook 情報

2022年2月 紀南PTA連合会ホームページを新設いたしました。facebook もリニューアルオープン！様々なイベント情報、会報誌のダウンロードが可能となりました。是非、一度アクセスしてください。ご意見、ご要望も、お問い合わせサイトへアクセス願います。



三重県PTA連合会 LINE 公式アカウント友達募集

2021年10月 三重県PTA連合会はLINE公式アカウントを新設いたしました。様々なイベント情報との連携が可能となります。会員登録をお願い致します。

友だち募集



単P
通信

熊野市立 入鹿中学校

「自慢の学校で地域に学ぶ」

*文化祭で「隼太鼓」を演奏しました！

入鹿中学校は、三角屋根の時計台が印象的な木造建築の学校です。山里に「凜」とそびえる、その素敵な姿を撮影する車や観光バスが後を絶ちません。私たち(紀和町の方々、生徒、職員)にとっても「かけがえのない自慢の学校」です。

さて、本校では紀和町の深い歴史や文化に密着した多くの取組を、地域の方々の理解と協力を得ながら行っています。その中の一つに、例年、文化祭で披露する「隼太鼓」の演奏があります。町の太鼓文化の継承を念頭に置き、紀和瀨流太鼓保存会様のご指導により、生徒と地域の方々が心を一つに、約一ヶ月間、夜間の練習に励みました。朝練や学習活動の中では習得が難しいかけ声や目線、決めのバチ先の向き等、演奏に統一感が生まれるよう丁寧な指導を受けました。回を追う毎に、生徒のモチベーションアップと、演奏の質が確実に高まっていきました。11月13日(土)の文化祭本番では「心にしみる圧倒的な演奏」が、入鹿小学校児童や保護者の皆さんに感動を与えました。

太鼓の他にも、年間を通した「丸山千枚田」での田植えや収穫体験、また、「赤木城」「紀和鉱山」「水車谷」等の歴史・地域学習を加えて、生徒の心に「郷土に学び好きになり愛する心」が涵養(かんよう)されていくものと信じています。



社会性を育む全校活動

熊野市立 飛鳥小学校

● 苗植えの様子(5月18日)



苗は紅あずまと鳴門金時の2種類を植えました。

● 収穫の様子(11月1日)



葉が害虫にかなり食べられていたせいか、収穫量は少なめでした。

本校の全校児童は31名です。掃除やレクリエーション等、日常的に全校活動があります。それらの活動では上級生が下級生を助けたり、教えたりする習慣が根付いています。こうした異年齢集団の活動は、子どもたちの社会性を育むことにつながっています。

また、現在は新型コロナ等の影響で中止したのものもありますが、地域から学ぶカリキュラムも充実しており、地域の方との交流も盛んです。

焼きいも大会

11月の土曜授業では、本校の教育活動にご尽力いただいている地域の方をお招きし、焼きいも大会を行いました。児童会が中心になって企画運営する全校行事です。今回はその取り組みについてご紹介します。

● 焼きいも大会の様子(11月20日)



池正製材所から頂いた薪で焼き火し、前日に全校縦割り班で準備したアルミホイルに包んだいもを、ひとりひとり投げ込みました。焼けるまでの間は児童会主催の全校レクリエーションでした。焼きあがったいもを地域の方と一緒においしくいただきました。

● 焼きいも大会で地域の方々と記念撮影



編集後記

2月にHome Page開設致しました。facebookもリニューアルオープン致しました。イベント情報、広報誌情報がダウンロード可能となりました。お気づきの点がございましたら、ご連絡お願い申し上げます。本会(各委員会)へのご質問・ご相談・ご要望等(奨励点・提案事項等)をお寄せください。昨年12月より、事務局に新メンバーが在籍：大久保秀信氏 宜しくお願い致します。

紀南PTA連合会広報委員会発行

住所：〒519-4323 熊野市木本町622-13

FAX番号：0597-88-2511

メールアドレス：kinanpta@outlook.jp